第 20 講
民族・宗教

「言語・民族・宗教」のジャンルを苦手とする受験生は多いと思う。系統的に全体を学習するよりも，共通テストの出題傾向に合わせて，要点事項だけ絞って学習することが大切である。また，少数派の民族の問題や，民族・宗教の違いに起因する対立なども頻出の出題ポイントとなるが，ある程度パターン化されているので，出題例を通じ，重要事項を整理していこう。

２０．１　言語系統

世界の人々は多様な言語を使用し，その言語はいくつかのグループに分けることができる。語族や諸語といったグループ化がなされる。主な語族・諸語を見てみよう。

語族・諸語	主な言語
インド・ヨーロッパ語族	ヨーロッパの主な言語，イランの言語（ペルシャ語），南アジアの主な言語（ヒンディー語やベンガル語）。
アフリカ・アジア語族	アラブ人（西アジアから北アフリカ）のアラビア語，ユダヤ人（イスラエル）のヘブライ語。
シナ・チベット語族	中国語（母語として使用する人口は世界最大）。
インディアン諸語	南北アメリカの先住民の言語。

他には，ウラル語族（ハンガリー），アルタイ諸語（トルコやモンゴル），ニジェール・コルドファン諸語（サハラ以南アフリカ），オーストロネシア語族（東南アジアやオセアニア）などがある。

＜チェック！＞

語族の出題例は少ないので，以下の二つのポイントを必ず知っておこう。

１）インドの言語はヨーロッパと同じ系統である。

南アジアの広い範囲で使用される言語はインド・ヨーロッパ語族に含まれ，英語などヨーロッパで主に使われている言語と同じ系統にある。

２）アフリカはサハラ砂漠を境界として言語グループが異なる。

サハラ以北の北アフリカはアフリカ・アジア語族のアラビア語が使われ，アラブ民族が分布する。サハラ以南の中南アフリカはニジェール・コルドファン諸語が使用され，両地域には明確な違いがある。

２０．２　ヨーロッパの言語分布

ヨーロッパでは主にインド・ヨーロッパ語族の言語が使用されており，さらに３つの系統に細分化されている。

言語系統	分布地域
ゲルマン系言語	北西部で使用される。英語やドイツ語，北ヨーロッパの言語など。
ラテン系言語	南西部で使用される。フランス語やスペイン語，イタリア語など。
スラブ系言語	東部で使用される。旧ユーゴスラビア地域の言語，ロシア語など。

＜チェック！＞

ヨーロッパには多民族国家も多く，複数の言語系統に属する言語を公用語とする国もある。

国名	公用語
ベルギー	オランダ語・ドイツ語(ゲルマン系)やフランス語(ラテン系)。
スイス	ドイツ語(ゲルマン系)やフランス語・イタリア語(ともにラテン系)など。

[知っておこう]

ヨーロッパでは他にも多様な系統の言語が話されている。

言語	特徴・分布地域
ケルト系言語	インド・ヨーロッパ語族で，アイルランドやイギリス北部など。
マジャール語	ウラル語族でアジアからの影響が強い。ハンガリー。
バスク語	言語分類不明。フランスとスペインの国境。

２０．３　宗教の概要

宗教は発祥地の自然環境によって乾燥地域の宗教と湿潤地域の宗教に分けられる。さらに特定の民族のアイデンティティと結びつく民族宗教と，民族や地域を超えて広い範囲に伝播する世界宗教がある。

種類	宗教名	特徴
民族宗教	ユダヤ教	イスラエルのユダヤ人，世界中に離散したユダヤ系の人々によって信仰される。
	ヒンドゥー教	インド特有の宗教で，カースト制度や牛を神聖視するインド古来の文化と結びつく。
世界宗教	キリスト教	ヨーロッパに広がり，さらに植民地支配の過程で中南アメリカをはじめとする世界中に広がった。
	イスラーム	商人の宗教であり，交易路沿いにユーラシア内陸部や東南アジアにも広がった。
	仏教	主に農業地域に広がる。日本などに伝わった大乗仏教，インドシナ半島に伝わった上座仏教がある。

[知っておこう]

６世紀ごろに生まれたイスラームは世界宗教の中で最も新しく，現在でも信者数を大きく増やしている。教典コーランがアラビア語で書かれていることもあり，まずアラブ民族に広がったが，さらにアラブ商人たちによって交易路沿いに世界各地に広がっていった。主な伝播地域をチェックしよう。

１）ユーラシア大陸内陸部

東西を結ぶ交易路であるシルクロードに沿って交易都市が並び，イスラーム化されていった。ステップや砂漠が広がる乾燥地域であり，交易の盛んな地域である。中央アジア（ウズベキスタンなど）や中国北西部のウイグル地方などのトルコ系の民族にムスリム（イスラーム教徒）が多い。

２）東南アジア島嶼部

現在のインドネシアにあたる地域で栽培されていた香料を売買するための交易路が東南アジアのインド洋沿岸部に発達していた。アラブ商人たちにより港や都市へとイスラームが伝えられる。なお，一部にはバリ島（インドネシア）のように，より古い時代に信仰されていたヒンドゥー教の文化が残る地域もある。

３）サヘル地帯

サハラ砂漠の南縁のステップ地域がサヘル地帯であるが，ニジェール川沿い

などに多くの交易都市が発達し，やはりアラブ商人によってイスラームが伝えられた。乾燥地域の岩塩や，ギニア湾岸の熱帯産物などが取引された。

なお，イスラームにはアルコールの摂取や豚肉を食することを禁忌とする文化があるが，これはイスラーム発祥地のみに限らず，世界中のイスラーム地域でも教義として守られている。

２０．４　キリスト教の宗派とヨーロッパにおける分布地域

キリスト教は伝統的な宗派(エチオピア正教など)も存在するが，ヨーロッパに伝播したものは大きく３つの宗派に分かれた。

宗派	分布地域
正教	東部に分布し，ロシアに信者が多い。
カトリック(旧教)	主に南西部のラテン系の人々に信者が多い。スペインやポルトガルの植民地支配により，中南アメリカはカトリック化された。
プロテスタント(新教)	北西部に分布。イギリス系の人々が移住した北アメリカでも比較的信者が多い。

＜チェック！＞

ヨーロッパでは言語分布とキリスト教宗派の分布は大まかに重なっている。

・北西部(イギリスやドイツなど)・・・ゲルマン系言語の使用地域であり，プロテスタントが信仰されている。

・南西部(スペインやイタリアなど)・・・ラテン系言語の使用地域であり，カトリックが信仰されている。

・東部(ロシアなど)・・・スラブ系言語の使用地域であり，正教が信仰されている。

[知っておこう]

上記のような言語系統と宗派の対応が見られるヨーロッパだが，例外も多い。

国・地域	言語系統・宗教(宗派)
ドイツ南部	ゲルマン系言語・カトリック。第265代のローマ教皇ベネディクト16世はドイツ南部出身。
ポーランド	スラブ系言語・カトリック第264代のローマ教皇ヨハネ・パウロ２世はポーランド出身。
旧ユーゴスラビア	主にスラブ系言語が使用され，東部のセルビアでは正教徒が多いが，西部のクロアチアはカトリックであり，中部のボスニア・ヘルツェゴビナではムスリム(イスラーム教徒)が多数派。

アイルランド	ケルト系言語であり，カトリック。イギリスの北アイルランド地方では，カトリックのアイルランド系住民とプロテスタントのイギリス系住民の間で対立が生じている。

２０．５　南北アメリカ大陸の先住民

南北アメリカ大陸の先住民は，かつてユーラシア大陸から移動してきた人々の末裔と言われている。その時代は現在より海面高度が低く，ベーリング海峡(ユーラシア大陸と北アメリカ大陸の間)が陸化していた。

北極海沿岸やカナダ北部はイヌイット，カナダ南部からアメリカ合衆国へはネイティブアメリカン，カリブ海地域・中央アメリカから南アメリカへはインディオが，それぞれ先住民として独自の文化を有し，生活の基盤を築いていた。

[知っておこう]

彼らの伝統的言語は，いずれもインディアン諸語に区分される。現在はそれぞれの国の言語が基本的には使用されているが，カナダのヌナブト準州ではイヌイットの言語が使用されたり，ペルーやボリビアではインディオの言語が公用語とされたりするなど，伝統的な文化の尊重もみられる。

２０．６　アメリカ合衆国の歴史と先住民の迫害

北アメリカではイギリス(カナダ東部ではフランス)による進出が盛んとなり，開発が進められた。東部の森林地帯など湿潤地域において狩猟や採集生活を行なっていた先住民(ネイティブアメリカン)が住処を奪われ，時には多くの命が失われるといった迫害も生じていた。

18世紀にはアメリカ合衆国が独立し，19世紀に太平洋岸で金鉱が発見され(ゴールドラッシュ)，さらに大陸横断鉄道が完成すると，ヨーロッパ系の人々の西部への進出が盛んとなった。フロンティア(開拓前線)の西進である。しかし，同時に先住民への弾圧はさらに激しくなり，彼らは土地を失い，主に西部の乾燥地域に設けられた居留地へと封じ込められることになった。

現在は先住民の文化も尊重され，自由や権利も回復しつつある一方で，社会的地位は低く，未だに居留地に住む人々も少なくない。

２０．７　アメリカ合衆国の民族と社会

アメリカ合衆国で長く社会的地位の高い立場を占めていたエリート層が「WASP

（ワスプ）」である。白人・アングロサクソン系・プロテスタントの頭文字を取ったもの。アングロサクソン系とはイギリス系のことであり，彼らが建国の祖となった。独立後にはアイルランドやイタリアなどからの移民も増え，彼らはカトリックを信仰する。

このようにヨーロッパ系の人々によって形づくられたアメリカ合衆国ではあるが，多くの移民を迎え入れるなど，地域によって民族構成は多様である。

・アフリカ系・・・南部（南東部）のプランテーションでの労働力としてアフリカ大陸から連れてこられた人々の子孫。南東部諸州で割合が高いが，奴隷解放後は北部の工業都市へと移住した人々も多く，デトロイトなど工業都市においてはアフリカ系の割合がひときわ高い。社会的地位は概して低い。
・ヒスパニック・・・スペイン語を母語とする人々。メキシコやカリブ海地域からの移住者とその子孫。1980年代以降に急増し，現在ではアメリカ合衆国全人口の６分の１以上を占めている。フロリダ半島やメキシコとの国境沿いの州で割合が高く，ヒスパニックの人口が過半数に達する州も一部にはある。都市部に住む人々も多いが，小麦地帯などの農業地域で労働力として重用される人々も少なくない。
・アジア系・・・人口は少ないものの，2000年代に入り高い増加率を示している。伝統的な都市内部の集住地区（チャイナタウンなど）で商業や金融業に従事する者もいるが，現在はICT技術者として先端産業地区で働く者も多い。太平洋岸の諸州で割合が高い。

[知っておこう]

「民族のサラダボウル」という言葉がある。アメリカ合衆国における民族の多様性を示す言葉であると同時に，それぞれの民族が独自の文化を守りつつお互いが尊重されるべきであるという考え方を示す言葉でもある。「民族のサラダボウル」はとくに大都市において顕著である。ヨーロッパ系の人々が多数を占めるアメリカ社会ではあるが，チャイナタウンやユダヤ人街，さらにはアフリカ系の人々やヒスパニックの集住地区など，多様な民族が大まかな居住範囲を策定し，各々の文化の中で暮らしている。ニューヨークやシカゴなど大都市においてはヨーロッパ系の人々以外の割合も比較的高く，一部では旧市街地に社会的地位の低い少数民族が集まるスラムも形成されている。

20．8　さまざまな民族・宗教問題

民族や宗教の違いに起因する対立は多い。実際の出題例を通じて，それらを整理していこう。

練習問題[11]

①;北アイルランド地方(イギリスの一部)について。アングロサクソン(ゲルマン)系プロテスタントと，アイルランド(ケルト)系カトリックとの対立。

②；シンガポールはマレー半島の先端に位置する都市国家。近接しているマレーシアと，かつて連邦国家を形成していた。いずれも旧イギリス植民地だが，マレー系住民中心の国づくりを進めるマレーシアと，英語も公用語とするなどより国際的な国家を目指すシンガポールとで考え方の相違があり，連邦は解消されている。

③；南アジアは国ごとに宗教構成がはっきりしている。インドを挟んでパキスタンとバングラデシュは同じ宗教の信者が多い。

④；ピレネー山脈西部のバスク地方には独自の言語を使用するバスク人が分布。

＜チェック！＞

南アジアは全域がイギリスによって支配されていたが，主に宗教分布によって国境線が策定された。国ごとに信仰される主な宗教は重要。

国名	宗教
インド	ヒンドゥー教徒が多数。ただし，ムスリムも１億人以上。
パキスタン	イスラーム。かつてバングラデシュと連邦を構成。
バングラデシュ	イスラーム。かつてパキスタンと連邦を構成。
スリランカ	多数派のシンハリ人は仏教徒，少数派のタミル人はヒンドゥー教徒

※ネパールはヒンドゥー教，ブータンはチベット仏教，モルディブはイスラーム。

インド北部からパキスタン北部に広がるカシミール地方は両国が帰属を争う地域。藩王はヒンドゥー教徒，領民はムスリムであり，宗教構成が複雑。

[知っておこう]

東南アジアは欧米によりほとんどの地域が植民地化され，現在もその影響が大きく残る。テストで出題されやすいところであるので，簡単にまとめておこう。

国・地域	植民地支配の歴史
フィリピン	スペイン植民地時代にカトリックが広まり，アメリカ合衆国植民地時代に英語が使われるようになった。
インドシナ半島	東部（ベトナムなど）は旧フランス領，西部（ミャンマー）は旧イギリス領。中央のタイは緩衝国として独立を維持。
マレー半島	旧イギリス領。マレーシアとシンガポールはかつて連邦を構成。
インドネシア	重要な海上の交易路であり，商業国家オランダによって植民地とされた。なお東ティモールはポルトガルに支配され，カトリック化。

練習問題［12］

A：ヨーロッパ南東部に位置する国がセルビア。かつてこの地域に存在していた連邦国家ユーゴスラビアの中心的地位にあった。セルビア成立後も国内の混乱は続き，とくに南部のコソボ自治州はムスリムが多く，独立運動もさかんだったが，その一方でセルビア政府からの弾圧も行われていた。やがて2008年にコソボは独立を宣言し，日本とも国交が結ばれている。

B：西アジアのパレスチナ地方に位置する国がイスラエル。かつてはアラブ系のパレスチナ人が居住していたが，19世紀以降世界中からユダヤ人が大量に移住。第二次世界大戦後にユダヤ人によってイスラエル建国が宣言された。現在もユダヤ人とパレスチナ人との間で対立が続いている。

C：スリランカの主要民族は仏教徒のシンハリ人であるが，北部にはインド半島から移住してきたヒンドゥー教徒のタミル人が居住し，対立が生じている。

練習問題［13］

K：旧ユーゴスラビア。スラブ系言語が使われる地域である。北西部はスロベニアやクロアチアなどのカトリックの多い地域，南東部はセルビアや北マケドニアなど正教徒の多い地域。中央部のボスニア・ヘルツェゴビナはムスリムが多い地域であるが，クロアチア系住民（カトリック），セルビア系住民（正教）も比較的多く，複雑な宗教構成となっている。

　またセルビア南部にはアルバニア系のコソボ人が居住。現在は分離独立を果たしている。

L：イスラエルを中心とした地域で，パレスチナ地方と呼ばれる。ユダヤ人によるイスラエル建国の際には元々この地に住んでいたアラブ系のパレスチナ人が土地を失い，難民として周辺のシリアやヨルダンなどに流出した。

M：ソマリア。「アフリカの角（つの）」と称される地域。無政府状態が続き，国内に混乱が生じている。自然環境の厳しい地域で国民の生活は豊かではない。一

部では沿岸のインド洋で海賊行為もみられる。

練習問題[14]

P：イギリスの北アイルランド地方。アイルランド島はイギリスに植民地支配された歴史があり，アイルランド独立の際にこの北アイルランド地方のみイギリスに残された。アイルランド系住民とイギリス系住民との対立がみられる。

Q：バスク地方。ピレネー山脈西部のフランスからスペインの国境にまたがる地域。独自の言語を用いるバスク人が居住。

R：キプロス。ギリシャ系住民(キリスト教徒)が多数を占める国だが，北部には対岸から渡ってきたトルコ系(ムスリム)も多く，実質的な分裂国家となっている。ＥＵ加盟国ではあるが，キプロスをめぐってギリシャとトルコは国際的に友好とは言い難い関係にあり，このことがトルコのＥＵ加盟の一つの障害であると言われている。

＜チェック！＞

トルコは貿易や工場進出など経済や産業分野でのヨーロッパとの関係が深く，将来的なＥＵ加盟への動きもある。しかし，いくつかの民族問題がＥＵへのスムーズな加盟の障害になっている。

一つがキプロス問題。キプロスではギリシャ系住民による「南キプロス」とトルコ系住民による「北キプロス」の対立がみられ，国際的にもギリシャは南キプロスを，トルコは北キプロスを支援しており，両国の関係は微妙なものとなっている。すでにＥＵの一員であるギリシャやキプロスの立場を尊重するならば，その対立勢力であるトルコをＥＵへと迎え入れるには困難な状況にある。

もう一つがクルド人問題。トルコ東部からイラン，イラクなどの山岳地帯に広く居住する人々がクルド人。イラン系のクルド語を使用するムスリムである。トルコ国内においては少数派であるクルド人が差別され，ときに迫害されるなど，彼らの立場は危ういものであり，一部にはテロ行為などが生じる場合もある。こうした未解決の民族問題をＥＵの内側に持ち込むことはリスクが大きく，その平和的な解決がみられるまで，トルコのＥＵ加盟は遅れるのではないかと言われている。

ワンポイント

出題率は高くないが，旧ユーゴスラビアについて取り上げておこう。

かつてユーゴスラビアだった範囲は，現在は表に示した７つの国に分かれている。コソボを除きいずれもスラブ系の国である。宗教は東側のセルビアなどで東方正教，西側のクロアチアなどでカトリックが信仰されているが，ボスニア・ヘルツェゴビナ中央部やコソボなどのようにイスラム教徒が多数を占める地域も存在している。

国	言語	宗教
スロベニア クロアチア	スラブ系言語	カトリックが信仰される
ボスニア・ヘルツェゴビナ	スラブ系言語	ムスリムが多数派だが，クロアチア系住民はカトリック教徒，セルビア系住民は正教徒
セルビア モンテネグロ 北マケドニア	スラブ系言語	東方正教が信仰される
コソボ	アルバニア系言語	イスラームが信仰される

第20講
民族・宗教［練習問題］

［１］ インドにおける文化や人々の生活について説明した文として**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。

（2003年度地理Ｂ本試験第３問問７）

① インドのうち北・中部で話されている言語の大部分は，インド・ヨーロッパ語族に属する。

② カースト制度は，インドに多いヒンドゥー教徒の生活に大きな影響を与えているが，カーストによる差別は憲法で禁止されている。

③ 国際的にみて賃金水準が低く，英語を理解する技術者が多いため，輸出向けコンピュータソフト産業が発展している。

④ 欧米化の進展とともに伝統的な価値観が崩れ，農村でも人々の食生活が肉食中心に変わってきた。

［２］　次のＸ～Ｚの文章は，アフリカからの三人のノーベル賞受賞者とその出身国の状況について説明したものであり，図１中のカ～クは，受賞者のいずれかの出身国である。Ｘ～Ｚとカ～クとの正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

（2007年度地理Ｂ本試験第４問問６）

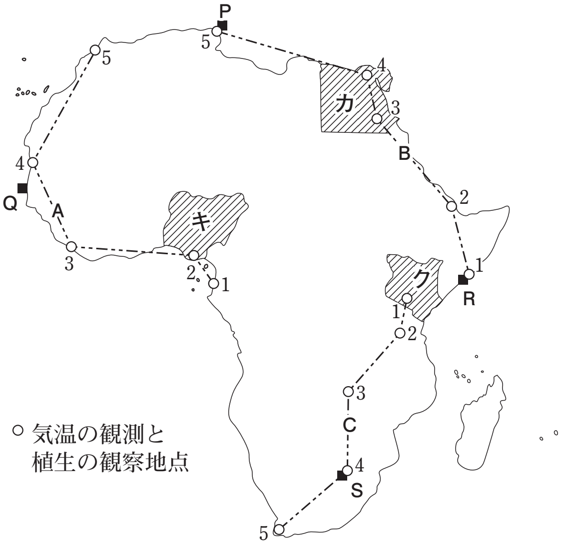


図１

Ｘ　ウォレ・ショインカの出身国は，多民族からなり，政治や石油利権をめぐって対立が続いている。彼は1967年に始まった内戦で，地方の民族主義を弾圧した軍事政権を厳しく批判し，投獄されたこともあった。

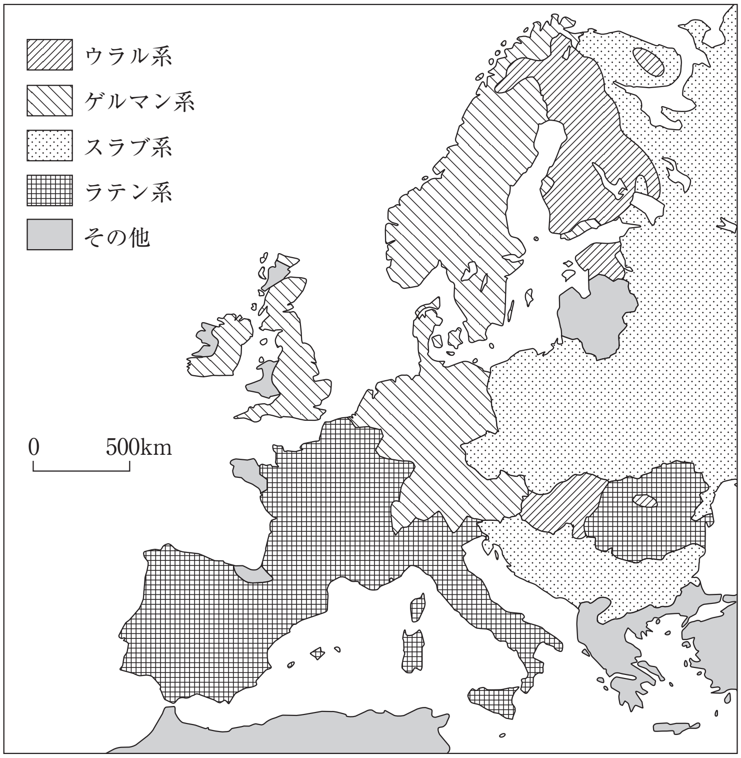
Ｙ　ナギーブ・マフフーズの出身国は，アラブ世界の政治や文化における中心的国家である。彼の小説はイスラム教の教義に反するとして，発禁処分にされたこともあったが，アラブ世界で多くの読者をもち，映画化された。

Ｚ　ワンガリ・マータイの出身国は，多様な野生動物が多く生息する。彼女は，砂漠化や薪の採取による森林の破壊が深刻であったため，植林によって農村女性の社会参加を実現する運動をアフリカ各地に広めた。

	①	②	③	④	⑤	⑥
Ｘ	カ	カ	キ	キ	ク	ク
Ｙ	キ	ク	カ	ク	カ	キ
Ｚ	ク	キ	ク	カ	キ	カ

［3］　次の図3は，ユーラシア大陸西部における言語分布を，ウラル系，ゲルマン系，スラブ系，ラテン系，その他の五つに大別して示したものである。この図を参考に，当地域の言語分布に関して述べた下の文①～④のうちから，**誤っているもの**を一つ選べ。

（1998年度地理Ａ追試験第１問問５）



「Diercke Weltatlas」により作成。

図3

① ヨーロッパの言語分布には，複雑な民族移動の結果が反映されている。

② ゲルマン系言語の分布とラテン系言語の分布の境界は，現在の国境と完全に一致する。

③ 東ヨーロッパに孤立する形で分布しているラテン系言語は，ルーマニア語である。

④ 図中に「その他」で示されている言語の分布には，ギリシャ語やトルコ語の分布地域が含まれている。

［4］　世界にはおびただしい数の言語が存在するが，それらは，系統の異なるいくつかの言語群に分類することができる。また，言語は思考やコミュニケーションの基礎となるため，民族を識別する際の重要な指標の一つとなる。ある言語を共有する社会集団が特定の宗教・宗派と結びつく例もしばしばみられるが，三大宗教のように，民族や国家の枠を越えて広い範囲で受容された宗教もある。

下線部の例として適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

（1997年度地理Ａ本試験第２問問３）

①　チベット語とヒンドゥー教　　②　ヘブライ語とユダヤ教

③　ポルトガル語とギリシア正教　　④　マレー語と仏教

［5］　多様な自然環境と密接に結びついた，さまざまな宗教が生み出された。それらの宗教の中には，民族の範囲を越えて世界宗教となり，他地域との交流の過程で，発祥地とは異なる環境を持つ地域に伝えられ，そこに定着する場合もあった。

下線部に関して，宗教が発祥地とは異なる環境を持つ地域に伝えられ，そこに定着した例として**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。

（1998年度地理Ａ追試験第１問問７）

①　インドネシアのイスラム教　　②　フィリピンのキリスト教

③　ブラジルのキリスト教　　④　リビアのイスラム教

［６］ 次の写真２は，それぞれある宗教にみられる建築様式を示している。これらの宗教のおもな伝播範囲について述べた次の文①～⑤のうちから，写真２中の**ア**・**イ**に該当するものをそれぞれ一つずつ選べ。

（1997年度地理Ａ本試験第２問問４）

ア

イ

写真２

（編集部　追記：編集上の都合により代替写真に差し替えております。）

① 東アジア・東南アジアのモンスーン地域のほか，アジア内陸の高地やステップ地域にも及んでいる。

② 中央アジアを除く旧ソ連地域と東ヨーロッパの一部が中心となる。

③ 西アジア・中央アジア・北アフリカの乾燥気候地域が中心だが，東南アジアの一部の国にも広がっている。

④ 北ヨーロッパと北アメリカのアングロサクソン系住民の分布範囲とよく対応する。

⑤ 南アメリカ大陸を含むラテン系言語の使用地域のほとんどが含まれる。

［7］　次の①～⑥の文は，図１中のＡ～Ｆのいずれかの国(＊)の言語と宗教の特徴について述べたものである。図１中のＢ国とＦ国の特徴を述べた文として最も適当なものを，次の①～⑥のうちからそれぞれ一つずつ選び，記号で答えよ。

(＊)図１の範囲外にある各国の領土は含まない。

(2006年度地理Ａ本試験第４問問３)

Alexander Weltatlas などにより作成。

図１

① 主にウラル系の言語が話され，カトリックやプロテスタントが信仰されている。

② 主にゲルマン系の言語が話され，北部では主にプロテスタント，南部ではカトリックが信仰されている。

③ 主にゲルマン系の言語が話され，ほぼ全域でプロテスタントが信仰されている。

④ 主にスラブ系の言語が話され，ほぼ全域でカトリックが信仰されている。

⑤ 主にスラブ系の言語が話され，イスラム教や東方正教が信仰されている。

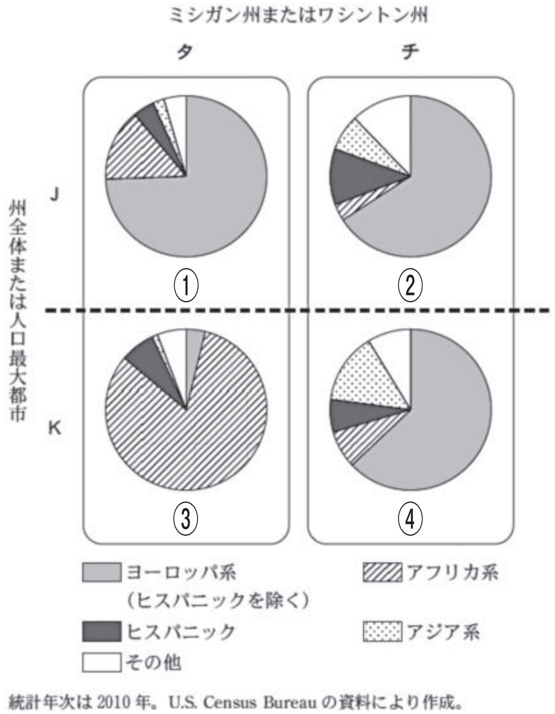
⑥ 主にラテン系の言語が話され，ほぼ全域でカトリックが信仰されている。

［8］　次の図3は，ミシガン州とワシントン州の州全体，およびミシガン州とワシントン州の人口最大都市であるデトロイト市とシアトル市における，人種・民族別割合を示したものである。図3中の**タ**と**チ**は，ミシガン州とワシントン州のいずれか，**J**と**K**は，州全体と人口最大都市のいずれかである。ミシガン州の州全体に該当するものを，図3中の①～④のうちから一つ選べ。

（2021年度地理Ｂ本試験第4問問4）

U.S. Census Bureau の資料などにより作成。

図1

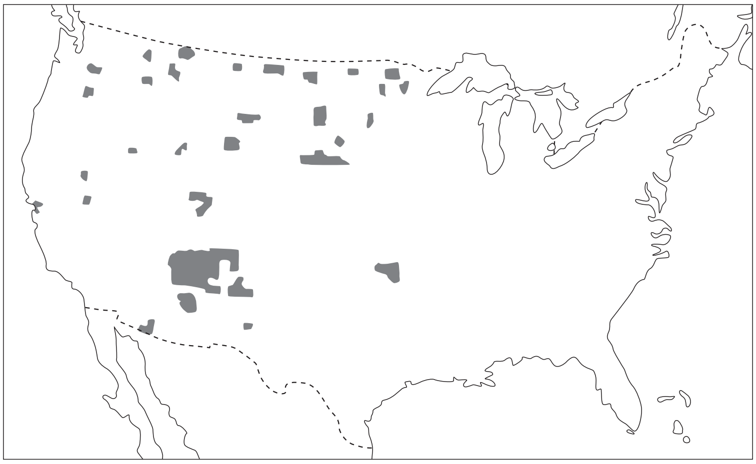


統計年次は2010年。U.S. Census Bureau の資料により作成。

図3

［９］ 次の図２中の黒地部分は，アメリカ合衆国の先住民であるネイティブアメリカンの主な保留地の分布を示したものである。この保留地の分布について説明した下の文①〜④のうちから，正しいものを一つ選べ。

（1997年度地理Ａ追試験第２問問５）



「Diercke Weltatlas」などにより作成。

図２

① ネイティブアメリカンを農業労働力として利用するため，新たに開拓された農業地帯の周辺に保留地が与えられた。

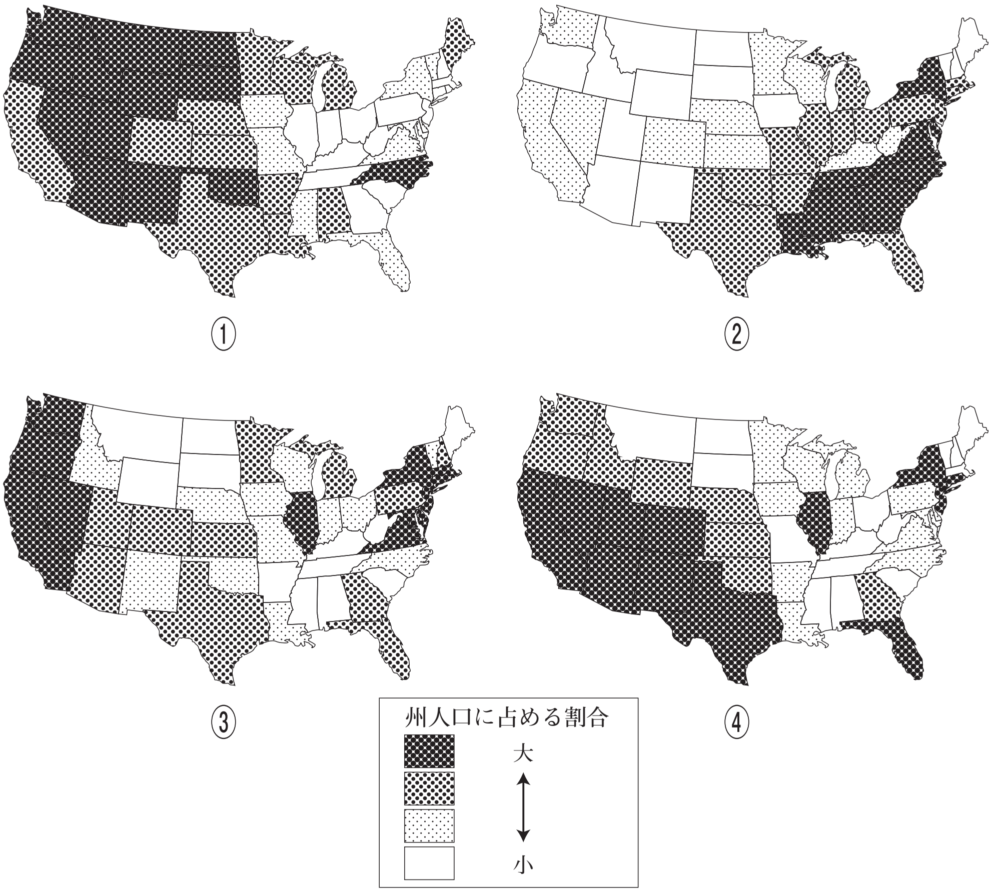
② ネイティブアメリカンの多くが都市的生活を希望したので，大都市の郊外に保留地が設定された。

③ ネイティブアメリカンの大部分がもともと生活の場としていた砂漠や荒地が，保留地として返還された。

④ 農牧業に適した土地，鉱産資源に富む土地などが，白人によって占められた結果，生活には不便な土地が，保留地としてネイティブアメリカンに残された。

［10］　次の図２は，アメリカ合衆国（アラスカ州とハワイ州を除く）の各州の人口に占めるネイティブアメリカン，黒人，中国系，ヒスパニックのいずれかの割合を相対的に示したものである。中国系の割合を示したものとして最も適当なものを，図２中の①～④のうちから一つ選べ。

（2003年度地理Ａ追試験第２問問５）



統計年表は2000年。アメリカ合衆国センサス局の資料により作成。

図２

［11］　世界各地で発生してきた国家の独立や自治権拡大を求める運動について述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

（2001年度地理Ｂ本試験第４問問３）

①　北アイルランドでは，少数派のプロテスタントが，カトリックの多いイギリスからの分離とアイルランドへの帰属を求める動きがある。

②　華人の割合が高いシンガポールは，マレー系住民の割合が高いインドネシアから分離して独立した。

③　ヒンズー教徒が多数を占めるバングラデシュは，イスラム教徒が多いパキスタンから独立した。

④　フランスとスペインの国境地帯にまたがるバスク地方には，独立国家の建設や自治権拡大を求める動きがある。

［12］　民族の文化的・歴史的背景の違いが，時として紛争に結びつくことがある。下の**カ**～**ク**の文は，次の図３中の**A**～**C**のいずれかにおける地域紛争を説明したものである。**A**～**C**と**カ**～**ク**との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

（2017 年度地理Ｂ追試験第３問問５）

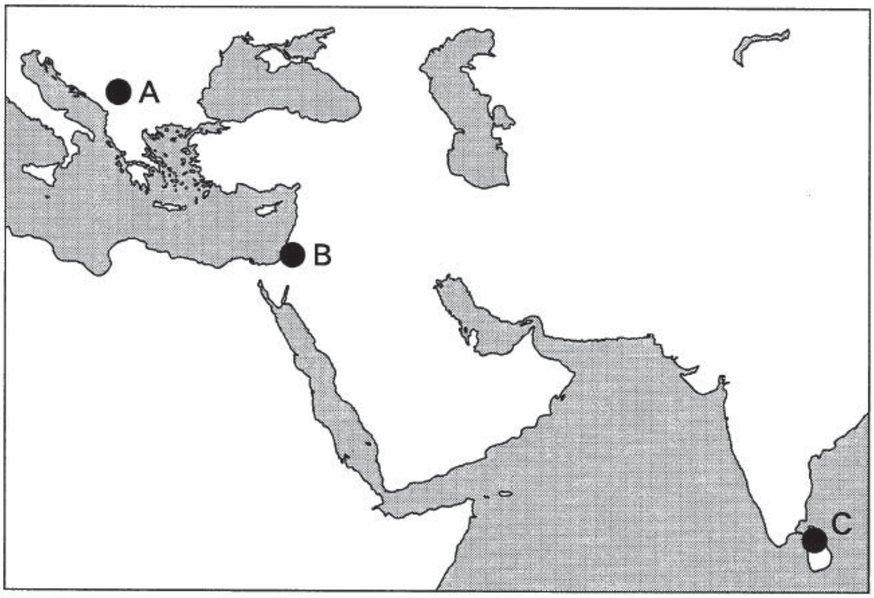


図３

カ　1948 年に建国を宣言した民族と，これに反対する周辺諸国との間で，紛争が起きている。

キ　ヒンドゥー教徒であるタミル人と，仏教徒であるシンハリ（シンハラ）人との間で，紛争が起きた。

ク　ムスリム（イスラム教徒）を中心とした民族が独立運動を起こし，紛争を経て独立に至った。

	①	②	③	④	⑤	⑥
A	カ	カ	キ	キ	ク	ク
B	キ	ク	カ	ク	カ	キ
C	ク	キ	ク	カ	キ	カ

［13］　下の**カ**～**ク**の文は，次の図４中に示した**K**～**M**のいずれかの範囲の中で発生した難民に関して述べたものである。**カ**～**ク**と**K**～**M**との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

（2008年度地理Ｂ本試験第５問問６）

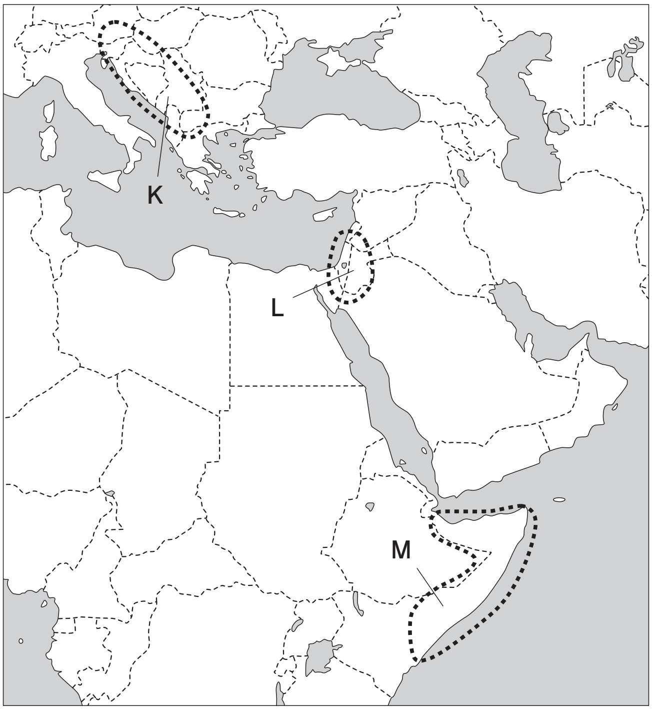


図４

カ　ユダヤ人国家の建国にともなって難民が発生した。
キ　国の体制が崩壊し，複数の民族・国家間紛争が生じて難民が発生した。
ク　干ばつなどの災害のほか，度重なる内戦の対立で難民が発生した。

	①	②	③	④	⑤	⑥
カ	K	K	L	L	M	M
キ	L	M	K	M	K	L
ク	M	L	M	K	L	K

［14］　次の**カ**～**ク**の文は，下の図３中の**Ｐ**～**Ｒ**のいずれかの地域でみられる民族紛争について述べたものである。**カ**～**ク**と**Ｐ**～**Ｒ**との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

（2009年度地理Ｂ追試験第６問問４）

カ　カトリック系住民とプロテスタント系住民が対立してきた。

キ　キリスト教系住民とイスラム教系住民が対立してきた。

ク　独自の言語を使う民族が独立国家の建設をめざす運動を展開してきた。

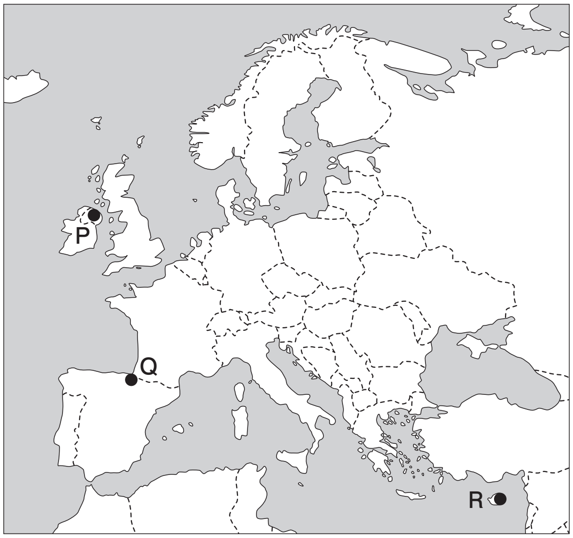


図３

	カ	キ	ク
①	P	Q	R
②	P	R	Q
③	Q	P	R
④	Q	R	P
⑤	R	P	Q
⑥	R	Q	P

第20講
民族・宗教［確認問題］

［１］　次の図５は，世界のいくつかの地域におけるキリスト教の人口について，宗派別に示したものである。図５中の①～④は，アフリカ，北アメリカ，中央・南アメリカ，ヨーロッパのいずれかである。アフリカに該当するものを，図５中の①～④のうちから一つ選べ。

（2024年度地理Ｂ追試験第３問問６）

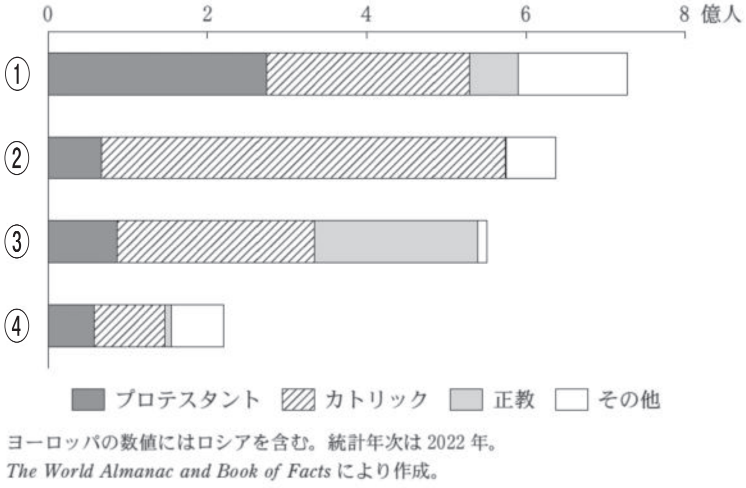
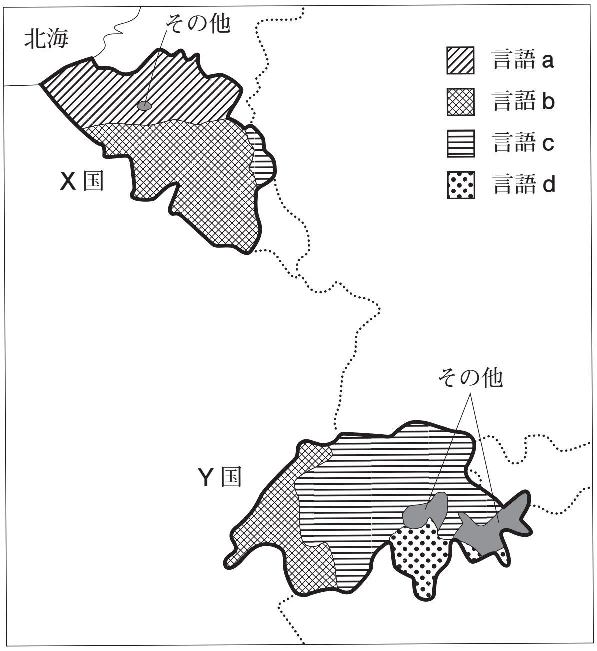


図５

［2］　次の図３は，図１中のＸ国とＹ国における言語による地域区分を示したものである。Ｘ国とＹ国の言語にかかわる特徴について説明した下の文章中の空欄タとチに当てはまる語の正しい組合せを，下の①～④のうちから一つ選べ。

（2010年度地理Ｂ本試験第５問問５）

図１



点線と太線は国境を示している。
Statesman's Yearbook などにより作成。

図３

言語 a と c はともに(　タ　)語派に属し，言語 b と d はともにラテン語派に属する。X 国と Y 国とは，国内で複数の言語が用いられている点で共通している。Y 国では公用語を(　チ　)制定している。

① タ－ゲルマン　チ－一つ
② タ－ゲルマン　チ－複数
③ タ－スラブ　　チ－一つ
④ タ－スラブ　　チ－複数

［3］　次の図３中の**カ～ク**は，ヨーロッパにおける宗教の分布図から，異なる三つの範囲を切り取って示したものである。範囲**カ～ク**の位置は，下の図４中の**A～C**のいずれかである。**A～C**と**カ～ク**との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

（2012年度地理Ｂ本試験第３問問４）

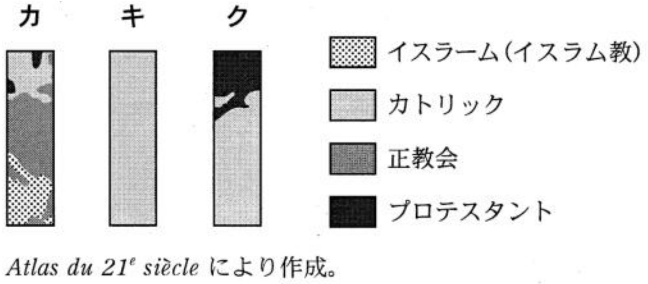


図３

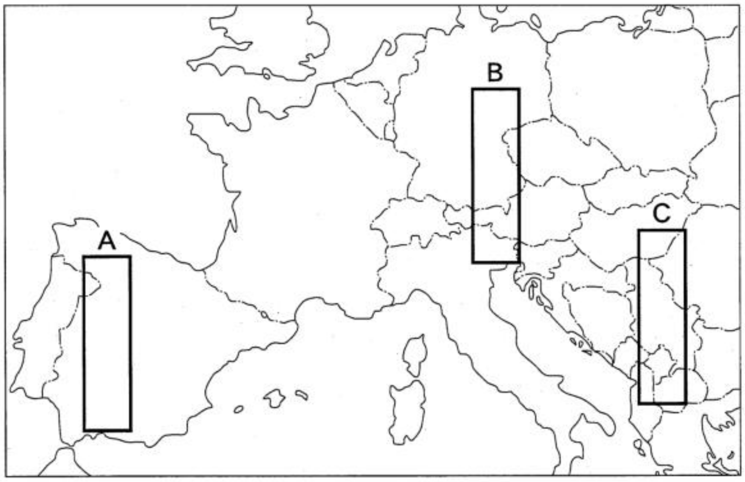


図４

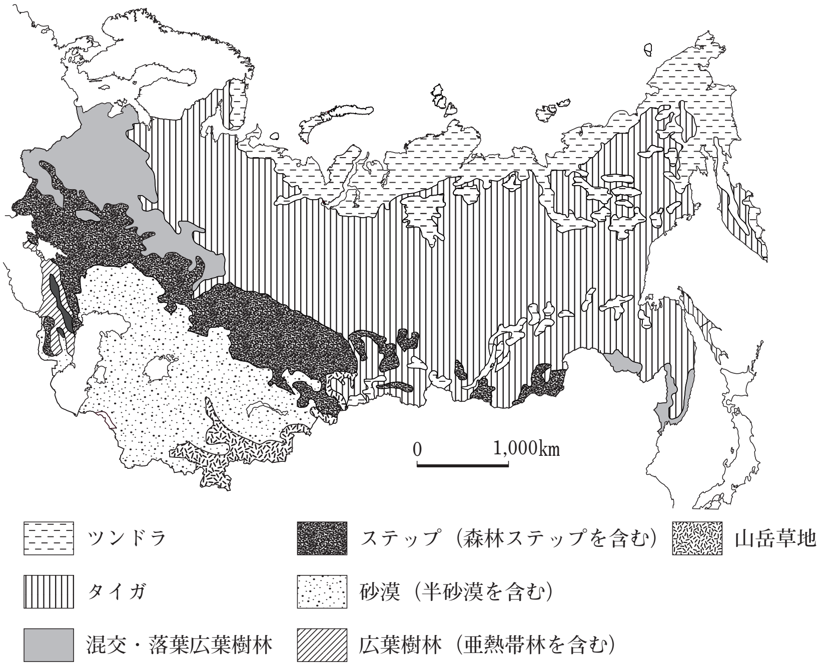
	①	②	③	④	⑤	⑥
A	カ	カ	キ	キ	ク	ク
B	キ	ク	カ	ク	カ	キ
C	ク	キ	ク	カ	キ	カ

［4］　次の写真２は，下の図１中の砂漠地帯のあるオアシス都市で写したものである。この写真あるいはその付近の説明として最も適当なものを，下の文①～④のうちから一つ選べ。

（1998年度地理Ａ追試験第２問問７）

写真２

（編集部　追記：編集上の都合により代替写真に差し替えております。）



「アトラス現代のソ連邦」により作成。

図１

① シルクロードの交易で栄えた時代の伝統を受け継ぐバザールであり，ときおりコーランの一節をよむ声が聞こえていた。

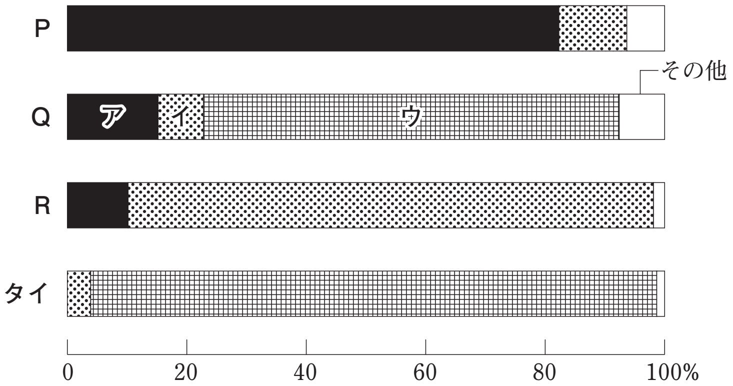
② 衣料品や食器などに加えて，香辛料やマンゴー，パイナップルなどの特産品も売られていた。

③ 羊肉や鶏肉などが大量に並べられ，名物の豚の串焼きは人気が高かった。

④ 付近は社交場であり，その土地に住む年老いた男性が数人ずつまとまり，酒を飲みながらおしゃべりしていた。

［５］ 次の図４は，インド，スリランカ，バングラデシュのいずれかの国とタイで信仰されている宗教について，宗教別の人口割合を示したものである。図４中の**ア**～**ウ**はイスラム教，ヒンドゥー教，仏教のいずれかであり，下の写真１の**ア**～**ウ**はそれらの宗教に関する写真を示している。P～Rに該当する国名の組合せとして正しいものを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

（2002年度地理Ｂ本試験第３問問４）



外務省『アジア・オセアニア各国要覧』などにより作成。

図４

ア

イ

ウ

写真１

（編集部　追記：編集上の都合により代替写真に差し替えております。）

	P	Q	R
①	インド	スリランカ	バングラデシュ
②	インド	バングラデシュ	スリランカ
③	スリランカ	インド	バングラデシュ
④	スリランカ	バングラデシュ	インド
⑤	バングラデシュ	インド	スリランカ
⑥	バングラデシュ	スリランカ	インド

［6］　次の図1中のA～Dのいずれかの地域でみられる紛争問題について述べた文として**適当でないもの**を，下の①～④のうちから一つ選べ。

（2012年度地理Ｂ追試験第５問問１）

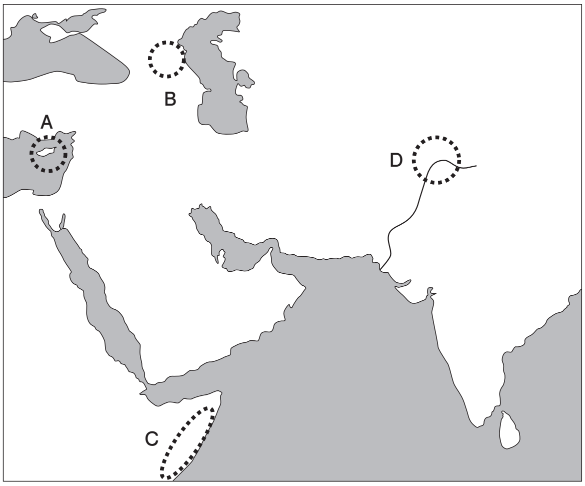


図1

①　A地域では，ギリシャ系住民とアラブ系住民との間で，国を二分する対立がみられる。

②　B地域では，ムスリム（イスラム教徒）が多数を占める民族による，ロシア連邦からの分離独立を求める運動がある。

③　C地域では，政府の支配力が衰退し，多様な軍事勢力による戦闘が拡大し，内戦状態が続いている。

④　D地域では，国境をめぐり，ムスリムが多数を占める国とヒンドゥー教徒が多数を占める国との間で対立がみられる。

〈***Note***〉

第20講　民族・宗教　解答

[１]正解；④

[２]正解；③

[３]正解；②

[４]正解；②

[５]正解；④

[６]正解　ア；①　イ；③

[７]正解　Ｂ；②　Ｆ；⑥

[８]正解；①

[９]正解；④

[10]正解；③

[11]正解；④

[12]正解；⑤

[13]正解；③

[14]正解；②

第 20 講　民族・宗教　解答

［1］正解；①

　最もわかりやすいのは中央・南アメリカである。ラテンアメリカとも称されるこの地域は，かつてスペインやポルトガルなどのラテン系諸国によって植民地支配された。植民地化の過程で宣教師が送られ，カトリック化された地域である。カトリックの割合がとくに高い②が中央・南アメリカに該当する。

　次に，③が特徴的である。他の地域に比べ正教の割合が高い。正教が信仰される代表的な国に，人口１億人を超えるロシアがある。よって，③はヨーロッパと判定できる。

　そして④については，この地域はキリスト教の人口が少ないという特徴が読み取れるが，そもそもの総人口が少ない地域であると考える。北アメリカに含まれる国はアメリカ合衆国とカナダのみであり，両国の人口を合計しても４億人を超えない。キリスト教の人口だけでも４億人を超える①～③は北アメリカには該当しないことからも，④を北アメリカと判定できる。アメリカ合衆国はイギリス系の移民により建国されたという歴史があり，イギリスで主な宗派であるプロテスタントが持ち込まれた。

　よって，残った①がアフリカである。アフリカの人口規模は10億人を超え，他の３つの地域に比べ人口規模が大きいこともポイントになっている。①ではキリスト教の人口が約７億人となっており，これはアフリカ総人口の半分程度である。サハラ砂漠以北の北アフリカに分布するアラブ人や，西アフリカのサヘル地帯やナイジェリアなどに住む人々にイスラームの信徒が多いことを考えれば，キリスト教の人口が圧倒的に高い割合を占めるわけではないことは十分に想像できる。キリスト教が伝えられたのはヨーロッパ諸国に植民地支配された際である。イギリスなどに支配された地域はプロテスタント，ポルトガルなどに支配された地域ではカトリックが，それぞれ多くなっている。なお，エチオピアでは，ヨーロッパ諸国のアフリカ進出以前からエチオピア正教が信仰されている。

［2］正解；②

　Ｘはベルギー，Ｙはスイス。ともにヨーロッパを代表する多民族（多言語）国家。

　Ｘのベルギーでは，北半分の地域に住むフラマン人はゲルマン系の民族でオランダ語を使用し，南半分の地域に住むワロン人はラテン系の民族でフランス語を

使用している(一部にドイツ語使用地域も)。「北半分がゲルマン系の言語，南半分がラテン系の言語」である。このことから，ベルギー北部で使用されているａはオランダ語となり「ゲルマン」語派である。タが決定する。

Ｙのスイスは図からわかるように，４種類の言語が用いられている。公用語は４つあり，チには「複数」が当てはまる。スイスにおいて最も使用人口が大きいのがドイツ語であり，ｃがドイツ語となる。フランスに近い西部ではフランス語，イタリアに接する南東部ではイタリア語がそれぞれ用いられており，ｂがフランス語，ｄがイタリア語。その他の言語はロマンシュ(レートロマン)語である。ドイツ語がゲルマン系，他はラテン系。連邦国家であるスイスでは州ごとの独自性が強い。

［３］正解；④

とにかく民族と宗教の関係で最初に覚えておくのは「ラテン民族はカトリックである」というセオリー。カトリックはラテン民族以外にも信者は多いが，ラテン民族のほとんど全てがその信者であることは間違いない。ラテン民族を確実に知っておけば，カトリックも判別できる。ポルトガル，スペイン，フランス，イタリアの南西ヨーロッパがラテン民族の主な分布地域であり，もちろんカトリックである。キがＡに該当。

さらにＣに注目しよう。旧ユーゴスラビア東部の地域である。枠内の中央にセルビアが位置し，南の菱形の国がコソボ。コソボは旧ユーゴスラビアに含まれるが，民族系統はアルバニア系で宗教はイスラム教(ボスニア・ヘルツェゴビナはスラブ系民族でイスラム教徒が多い)。イスラム教徒の存在が極めて重要で，カがＣとなる。

残ったクはＢに該当。ドイツ北部はプロテスタント，ドイツ南部からオーストリア，イタリアはカトリックが主。

［４］正解；①

旧ソ連南部の乾燥地域にはカザフスタンやウズベキスタンなどの国々があり，これらをまとめて中央アジアという。問題文にある「砂漠地帯のオアシス都市」というのも，中央アジアに位置するものと考えていいだろう。

「中央アジア＝イスラム教」と考えるのが大原則。ここには古代にシルクロードが通じ，東西を往復するアラブ商人によってイスラム教が伝えられた。中央アジア以外にも，東南アジア島嶼部やアフリカ・サヘル地帯などイスラム地域がある

が，これらもアラブ商人たちが移動した交易ルートに沿っている。東南アジア島嶼部は香辛料，サヘル地帯は岩塩が主な商品。

誤っている部分を指摘していこう。

②について。パイナップルは熱帯・亜熱帯の湿潤地域の作物。タイやブラジルで生産がさかんで，日本でも沖縄で栽培される。中央アジアは乾燥地域でパイナップルの栽培に適さない。

③について。イスラム教では，不浄であるという理由で，ブタは食されることはない。

④について。イスラム教では飲酒は禁じられている。

よって①が正文。「コーラン」とはイスラム教の経典である。

［5］正解；①

まずは写真の判定。アはヒンドゥー教。聖なる川であるガンジス川への沐浴。ヒンドゥー教徒の生活はガンジスとともにある。

イはイスラム教。モスクの中の光景である。メッカの方向に向かって祈りを捧げている。

ウは仏教。体全体をゆるやかに覆うような衣服に身を包むのは仏教の僧侶。髪の毛を剃っているのも手がかりになるだろう。手に食器のようなものを持っているが，托鉢をしているところなのだろうか。

では，帯グラフの判定をしよう。南アジアは国ごとに宗教分布が明確な地域。インドは，少なからずイスラム教徒も存在するものの，ヒンドゥー教徒が圧倒的多数を占める国。バングラデシュは，パキスタンと同様にイスラム教国。スリランカは，北部のタミル人はヒンドゥー教徒だが(インドから移り住んできた)，国民の過半を占めるシンハリ人は仏教徒である。これより，Ｐがインド，Ｑがスリランカ，Ｒがバングラデシュである。

［6］正解；①

Ａのキプロスでは，南部のギリシャ系住民と北部のトルコ系住民との間で対立がみられる。「アラブ」を「トルコ」に改めよう。

②について。ロシア最南部のカフカス地域に位置するチェチェン共和国はイスラム教徒が多い。ロシアからの分離独立を求める動きがあり，武力衝突にも発展している。

③について。「アフリカの角」ソマリアである。無政府状態に陥り，国内の複数

の勢力が対立し内戦に発展した。なお，内戦の原因として民族や宗教の違いが挙げられることがあるが，それが全てではないことを認識しておこう。ソマリアの人口のほとんどはソマリ人であり，宗教もイスラム教が多数。民族や宗教の違いに起因した内戦ではないのだ。

④について。Ｄのインダス川上流域はカシミール地方。「ムスリムが多数を占める」パキスタンと「ヒンドゥー教徒が多数を占める」インドとの係争地。この地域の帰属を巡り紛争が生じた。